



若者が住みやすい 環境づくりの政策を



自由民主党議員団
光田 茂 議員

6月14日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について（1）平成24年度一般会計決算見込みと単独事業の推進（2）近代化産業遺産と三川坑の管理運営（3）中心市街地の活性化計画の進捗状況（4）定住自立圏構想の進捗状況と今後の考え方
■2 若年家族への生活環境の支援政策について ■3 小・中学校の土曜授業の進捗状況について ■4 小・中学校の適正規模・適正配置における小中一貫校の考え方について ■5 わくわくシティ基金取り崩し額の返還について ■6 スポーツを通した市民の健康づくりと、スポーツ施設の整備について

市長の政治姿勢について

平成24年度一般会計決算見込みと 単独事業の推進

問 実質収支累計14億円の黒字決算見込みをどう受け止めているか。

答 経常経費の抑制などを着実に実施したことや、市税や普通交付税などの主な一般財源について一定額を確保できたので3年連続の黒字となったが、いまだ財政構造の抜本的な改善には至っていないと考えている。

問 単独事業も積極的に取り組むべきだと思うがどうか。

答 23年度から補助事業など財源の有無にかかわらず積極的に事業を行えるよう、これまでの緊縮予算の中で取り組めなかったまちづくりに必要な先進的、独創的な単独事業に特別枠を設け、各部の創意工夫を促す取り組みを行っている。

若者家族への生活環境の 支援政策について

問 住宅、福祉及び教育部門の支援政策について聞きたい。

答 若者が定着するには仕事があり、教育・福祉が充実しているまちが望まれ、そこに必然的に必要となるのが住む場所だと思う。本年3月に市営住宅の一部の団地に新婚・子育て枠を新設し、2戸の募集を行った。また保育所の園舎

老朽化整備と保育料の軽減、さらに教育施策では、教育施策大綱の中で学力向上、体力向上の数値目標を盛り込みながら、教職員の人的な配置等にも取り組んでいる。

小・中学校の土曜 授業の進捗状況

問 24年6月定例会でも質問したが、その後の進捗状況は。

答 今年度は代休日を伴わない新しい制度での土曜授業を年1回程度試行的に実施し、その成果と課題を明らかにして検討したい。

わくわくシティ基金 取り崩し額の返還について

問 23年9月定例会で、上記基金は本来あるべき姿にと質問した。23年度末時点での累積赤字解消のために1億円を取り崩し、解消したが、本来市が単独予算で解消すべきことだ。改めて取り崩した額の返還の考え方を聞きたい。

答 市の財政が厳しい中で、基金を取り崩し、スポーツ・文化施設の改修工事等に活用した経緯がある。

23年度にスポーツ振興計画を策定、今年度からは文化芸術振興プランの策定に取り組む。

スポーツ・文化の振興を図る観点から、基金そのもののあり方を含め総合的に検討する必要があると考える。

スポーツを通した市民の 健康づくりと、スポーツ 施設の整備について

問 スポーツとは、楽しみを求め、勝敗を競う目的で体を動かすことである。体を動かすことは幸せであり健康にもつながり、チャレンジデーの参加率の増加は喜ばしいことである。

中でもスポーツを行う場所の整備は重要であり、特に高齢者等が利用している諏訪公園については、日陰やベンチもないため、設備整備の必要があるのではないかと。

また、緑地運動公園についても、水はけの改善やベンチ設置など、さらなる整備をお願いしたい。



市民グラウンドゴルフ大会

答 諏訪公園に休養施設がないことは十分承知しており、多くの利用団体から要望等もあるので、指定管理者と協議し整備を進めたい。

また緑地運動公園も、施設が老朽化しており、設置者である福岡県とも調整を図りながら、計画的な改修等に努めている。指摘の件も県に要望していきたい。